

高砂市公共施設等総合管理計画に基づく個別施設に対する市の考え方について (抜粋)

高砂市公共施設等総合管理計画による公共施設の目標

【数値目標】 公共施設の総床面積を今後20年間で15%縮減します。

○施設の現況及び方向性

文化会館

建築年 1969年

延床面積 4666.32 m<sup>2</sup>

- ・文化会館は築46年を経過していますが、耐震補強、大規模改修工事を実施しています。

○数値目標の達成に向けての市の考え方

文化会館については、市の文化振興の拠点施設であるため存続し、収容規模や機能を必要最小限としながら、必要な時期に PPP 手法を検討しながら建替を図る。

○施設の現況及び方向性

文化保健センター

建築年 1984年

延床面積 3927.80 m<sup>2</sup>

- ・文化保健センターは築30年を経過しており、施設の老朽化が進行しています。

○数値目標の達成に向けての市の考え方

文化保健センターについては、文化会館の考え方を踏まえながら検討を進める。その場合、保健センター機能をどうするのかもあわせて検討する。

個別施設の考え方

○文化会館

短期 ( 2021 )	維持
中期 (2022~2026)	建替 (減築)
長期 (2027~2036)	維持

- ・文化会館については、PPP 手法も検討しながら延床面積の数値目標の30%を縮減し建替を行う。

○文化保健センター

短期 ( 2021 )	維持
中期 (2022~2026)	複合化
長期 (2027~2036)	—

- ・文化保健センターについては、文化会館の動向を見ながら存続するなら複合施設とする。また、建替時に中ホールは廃止し、保健センター機能をどうするかを検討する。